２０２５年
（令和７年）
６月７日

五位組だより

念仏のこころに生きる生活を

浄土真宗本願寺派
高岡教区　五位組
題字・織田隆夫

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年記念法要に向けて

五位組　組長
西光寺　住職　　養藤直哉

五位組親鸞聖人750回大遠忌お待ち受け法要の様子（2010年4月11日）

今年度、五位組では組内全寺院と御門徒の方々が協力して、九月二十八日（日）に西光寺（麻生谷）を会場に記念法要を勤修いたします。

八百年前の鎌倉時代、それまでの仏教は皇族や貴族といった一部の階級の人々が救われる宗教でした。親鸞聖人はお釈迦様の説法が書かれた数多のお経を深く探求し、七高僧と呼ばれる方々のお導きを通して「阿弥陀如来」という仏様の教えならば全ての人々が救われることを明らかにされ、私たちに伝えてくださいました。

この八百年の間に道具は信じられないほどの進歩を遂げ、生活は大きく変化してまいりました。

しかし、その道具を使う人間は進歩していると言えるのでしょうか。百八あるとされる煩悩のいくつかでも無くすことができたでしょうか。私たちは自分の力で仏になることなどできそうにありません。

阿弥陀如来はお浄土をお開きになるとき「四十八願」と呼ばれる願を立てられました。それらを成し遂げられないなら浄土は開かないとおっしゃったと紀元前六百年頃にお釈迦様は教えてくださいました。二千六百年以上前の身分差別の激しいインドでのお話です。

近年、やっと男女平等やバリアフリーといった考えが少しずつ広まってまいりました。私たちみんなが少しずつ心を寄せて、こうした考えが正しい道だという共通理解が進んできているのだと思います。一人では進歩できない私たちも、皆が心を寄せて進むことではじめて波を起こすことができ、前進することができるのです。私はこれが他力の道の歩みだと思います。孤独に道を追求する道が自力の道なら、願いの光に照らされながら、同じ思いをもった同朋（仲間。友人。特に、志を同じくしてともに仏道を修める仲間）とともに支え合い、敬い合いながら心を寄せて進んで行くのが他力の道です。

最初に、「組内全寺院と御門徒の方々が協力して」と述べたのは、記念法要を盛大に行うことが目的ではなく、同朋が協力して記念法要を営むとともに、それを喜び合うことこそが一番大切なことであると思っているからなのです。

法要に際して「帰敬式」（おかみそり）も執り行います。帰敬式は正式に浄土真宗のご門徒となる大切な儀式で、通常は京都の本願寺でのみ執り行われています。近年、県内では年に一度井波別院でも行われていますが高岡市近郊では行われていません。この儀式を終えて初めて「法名」をいただくことができます。そして、その後、正しい道を聞き分けて進んでいく同朋の一人となることができるのです。

そのためには、あなたの力が必要です。個人の力が集まって初めて「同朋」が生まれます。「同朋」の力があってこそ仏法を広め、安穏な世の中をつくりあげることができるのです。

住　職　イ　ン　タ　ビ　ュ　ー

福岡町上向田　浄永寺　齋藤芳摂　さん

①最近ハマっていることは？

短歌は六十年近く楽しんできた。三冊の歌集を出版。最近、句集を上梓した。スポーツも昨年まで野球を楽しんだ。

②お坊さんになってからの失敗談

得度して六十年余、住職になり三十年余、失敗談は思い当たらない。僧以外の事でもその時失敗と思っていても、日が経つにつれて、この方が良かったと思うこともある。人生にはこのようなことは多くある。

③新米僧侶の頃の自分に一言

八十歳の半ば、終活の時にさしかかっている。若いときに大いに勉強しておいた方が、老いた六十代以降、これが生きてきます。仏教以外のことも大切です。私の体験から。

④書道にも精通しておられますが、何事に対しても心掛けておられる姿勢について教えてください。

最近は機器による文字が主流となり、書き文字は少なくなりました。書は毛筆で書くだけではなくペンでも書きます。『法華義疏』（御物）や親鸞聖人の『教行信証』（国宝）は勿論のこと、書写されている内容に価値があるのです。寺では何かと毛筆を使うことが多くあります。筆に慣れ親しんでいることが大切と思います。

仏　教　語　ア　ラ　カ　ル　ト

教願寺　前住職　岡西法英

その⑧　娑婆に生きる凡夫

私たちが住むこの世界を娑婆といい、迷いと苦悩を背負って生きる私たちを凡夫と呼ぶのが仏教における習わしです。

娑婆いうのは、インド語の発音のシャバに漢字で当て字したものです。意味は、堪忍土という訳語に示される通り、さまざまな苦しみに耐えねばならないこの世界ということです。極楽とも、安楽とも、浄土とも呼ばれる阿弥陀如来の開かれた覚りの世界、真実の世界に対して、煩悩に汚れた迷いと苦しみのこの世界ということです。

凡夫はプリタークというインド語の訳語で、とらわれを離れられない者、という意味です。漢語としては聖人とは違ってただの凡人という程の意味です。

楽しく生きて、人々から敬われたいなどというのは、まさしく夢・妄想に他ならない。目を覚まして自分を見つめなおし、現実を見つめなおせというメッセージが込められた言葉だと思われます。また、如来のまなざしにうつったわが身の姿が如何なるものであったかを聞かせてもらえ、ということでもあったと思われます。

お講の年間日程

平等講
一座　十四時～

初御講　一月二十五日　教願寺
報恩講　三月二十五日　中止
本山講　五月二十五日　永念寺
降誕会　六月二十一日　広済寺
本山講　八月二十五日　西福寺
助成会・追悼会
　十一月二十五日　善教寺

二十五日講
一座　九時半又は十三時半～

初御講　三月二十五日　浄永寺
助成会　六月十九日　光明寺
報恩講　十月十五日　浄明寺

両講合同夏期講座

日程　今夏予定
場所　未定
懇親会　未定
講師　未定
主催　平等講・二十五日講

祠堂経法座ご案内

各寺院の祠堂経法座の日程をお知らせします。　**※日程は変更になる場合があります。**

詳細は各寺院にお問い合わせください

佐加野　光明寺
三月十七日　朝　九時三十分
三月十八日　朝　九時三十分
三月十九日　朝　九時三十分
法話　高岡市伏木　**山名　一徳　師他**

内島　教願寺
六月十三日　昼　一時三十分
六月十四日　朝　九時三十分
法話　富山市水橋　**石川　了英　師**

麻生谷　西光寺
六月十三日　朝　九時三十分　昼　一時三十分
六月十四日　朝　九時三十分　昼　一時三十分
法話　氷見布施　**圓山　望　師**

上向田　浄永寺
六月二十二日　朝　九時三十分　昼　一時三十分
法話　高岡市内島　**岡西　好持　師他**

石堤　長光寺
七月一日　朝　九時三十分　昼　一時三十分
七月二日　朝　九時三十分　昼　一時三十分
法話　南砺市福野　**栗山　宣雄　師**

笹川　広済寺
七月四日　昼　一時三十分
七月五日　昼　一時三十分
法話　高岡市内島　**岡西　好持　師他**

赤丸　性宗寺
七月六日　朝　十時
法話　福岡町大野　**新原　忠男　師**

三日市　光源寺
七月九日　昼　一時三十分
七月十日　昼　一時三十分
法話　福岡町土屋　**山岸　智史　師**

山岸　珉照寺
八月五日　朝　十時
八月六日　朝　十時
法話　南砺市城端　**杉谷　淳志　師**

四日市　浄明寺
秋の報恩講の際にお勤めします。

辻　西福寺
秋の報恩講の際にお勤めします。

石堤　法善寺
秋の報恩講の際にお勤めします。

舞谷　永賢寺
秋の報恩講の際にお勤めします。

立野　永念寺
未定

本保　本正寺
休止

黎明講座ご案内

各寺院の黎明講座の日程をお知らせします。

笹川　広済寺
七月三十一日　朝　五時三十分
八月一日　朝　五時三十分

石堤　長光寺
八月一日　朝　五時三十分
八月二日　朝　五時三十分

山岸　珉照寺
八月四日　朝　五時三十分

内島　教願寺
八月十三日　朝　六時
八月十四日　朝　六時
八月十五日　朝　六時

五位組　行事予定

第24回 五位組 夏休み子ども大会

日程　今夏予定
場所　五位組 川西寺院

蓮門会

テーマ「早わかり正信念仏偈の解説」
講師　岡西 法英 師

四月六日(日) 十五時 西光寺
五月四日(日) 十六時 浄明寺
六月一日(日) 十六時 善教寺
七月六日(日) 十七時 光明寺
十月五日(日) 十六時 広済寺
二〇二六(令和八)年
二月一日(日) 十五時 教願寺

※一回あたり千円での受講もできます。

五位組災害支援活動報告

昨年度に引き続き、輪島市門前町にて炊き出し等の活動をさせていただいています。

支援活動にはどなたでもご参加いただけます。お問い合わせは、五位組各寺院までお願いします(募金箱も設置しています)。

編集後記

最近よく目にする広告にAI関連のものがあります。今では簡単な項目を入力するだけで、絵が描けない人でも上手な絵を描いてくれたり、提出できるような文章やテキストを作ってくれます。

私たちが組報を作る時、色んな方にお願いして文章を書いてもらっていますが、人それぞれの特徴や個性があり面白いです。

考えてみると、私たちは完璧なものに心を動かされるのではなく、むしろ不完全なものに面白みを覚えるのかもしれません。今後全てが完璧なものしか認められない世にならない事を願うばかりです。

五位組だより　第30号　2025年（令和7年）6月7日発行
発行　五位組　／　編集・制作　五位組門徒推進員協議会